

真人の風

第 79 (不定期)
(令和7年10月25日)
(全戸配布)

地域づくり79号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

学校と地域の連携

学校の在り方について

答申提出

小千谷市では、少子化に伴う児童生徒数の減少が急速に進んでおり、学校本来の特性である児童生徒が集団で協力・切磋琢磨しながら学び、成長していくことが困難であるといった課題が生じています。
今後も市の教育環境に大きな影響を



及ぼすことが見込まれ、早急な対応が必要であることから、市全体の将来を展望した持続可能で魅力あふれる教育環境の在り方について検討する「小千谷市立小中学校の在り方検討委員会」が設置され、小千谷市立小中学校の在り方検討委員会設置要綱に基づき、3つの事項①小学校及び中学校における学校の適正な規模・通学距離及び通学時間②将来を展望した教育環境の在り方について諮問がされました。(諮問書の内容は下記のQRコードから小千谷市のHPで閲覧できます)

【検討経過】

検討委員会は18名で構成され、委員長に遠藤英和新潟県立大学非常勤講師が任命され、学識経験者、学校関係者、学校保護者代表、地域代表、に小千谷青年会議所と連合小千谷支部の代表で構成され、南小千谷地区代表として関麻紀さん(塩殿が任に当たりました)。

第一回の検討委員会は令和7年2月20日に開催され、以降第8回の検討委員会が開催され、令和7年9月24日に最終の答申案が審議されました。(検討委員会の資料並びに会議録は下記のQRコードから小千谷市のHPで閲覧できます)

○第1回検討会

小中学校の現状と課題について資料が示され検討

○第2回検討会

小千谷市における魅力あふれる望ましい教育環境等として「小千谷市の10年後の学校像・目指す子供の姿」をテーマにグループワーク

○第3回検討会

小千谷市における適正な学校規模について

○第4回検討会

学校視察で東山小学校を会場に前回に続き適正な学校規模について

○第5回検討会

小千谷市における中学校の適正な学校規模について

○第6回検討会

小中学校の適正な学校規模、通学距離及び通学時間について

○第7回検討会

これまでの出た意見整理と答申について

○第8回検討会最終

答申について

【答申の要旨】前記諮問①～③参照

①小学校 複式学級を解消できる規模学級数 ・統合後当分の間は複式学級が発生しない

中学校 全学年でクラス替えが可能となる規模(学級数) ・全学年でクラス替えが可能 ・すべての強化(9教科)で免許を持つ専門の教員を配置

②【原則】 通学距離 左記通学時間を勘案した通学時間

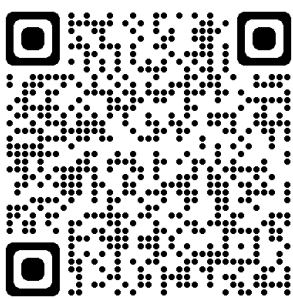
通学時間 小・中学校ともにおおむね1時間以内
・地理的条件や冬期間の気象状況を考慮 ・スクールバスの活用

③ ※左記の各項目の内容省略

○多様な価値観、文化にふれ、生きる力をはぐくむ環境の整備
○小千谷市の自然、歴史、人材を生かした、故郷に誇りを持てる教育
○通学の安心安全の確保

小千谷市立小中学校の在り方検討委員会での資料や答申等について裏面で関連して記載してありますのでご覧ください。

左記のQRコードやアドレスより小千谷市のホームページで閲覧することが出来ます。



<https://www.city.oiyaniigata.jp/soshiki/education/gakko/unoarikata.html>

買物バス月2回運行

11月13・27日木

シスターキー

原信桜町店への運行は月2回を継続して行います。皆様お誘い合わせでご利用ください。

集合時間 9時30分

集合場所 真人ふれあい交流館

買物先 原信桜町店

買物時間 約40分

申込み 真人ふれあい交流館

申込内容 氏名、町内名、電話番号、乗車場所をお伝えください。

利用料金 実費相当の寄付(五百円以上の寄付をお願いします。)

対象者 真人里地・芋時住民を対

象人数 9名先着順 但し申込が5名未満の場合は実施を中止します。その際は関係者に連絡します。

※送迎費用のほかの経費は各人の支払となります。

通常料金

大人 900円 (中学生以上)

こども 650円 (小学生)

幼児 100円 (3歳以上)

タオルセット・館内着セットの利用が可能です(有料)

問合せ先 真人ふれあい交流館 (福祉会 渡邊・丸山)

Tel 86-30002

温泉送迎バス

11月21日(金)運行

えちご川口温泉行

温泉で心身共にリフレッシュしてみませんか。今月も温泉送迎バスを運行します。皆様のご利用をお待ちしております。

集合時間 10時00分出発

集合場所 真人ふれあい交流館

行き先 川口温泉

帰りの温泉発時刻 15時30分発

申込み期限 11月17日(月)

申込先 真人ふれあい交流館

問合せ先 Tel 86-30002

申込内容 氏名、町内名、電話番号、乗車場所をお伝えください。

利用料金 実費相当の寄付(五百円以上の寄付をお願いします。)

対象者 真人里地・芋時住民を対

象人数 9名先着順 但し申込が5名未満の場合は実施を中止します。その際は関係者に連絡します。

※送迎費用のほかの経費は各人の支払となります。

通常料金

大人 900円 (中学生以上)

こども 650円 (小学生)

幼児 100円 (3歳以上)



タオルセット・館内着セットの利用が可能です(有料)

1. 小学校及び中学校における学校の適正な規模

児童生徒が多様な学びの機会を得られ、健全な人間関係を築き、教育の質を維持するために望ましい学級数について。

小学校 複式学級を解消できる規模（学級数）

- ・統合後当分の間は複式学級が発生しない

中学校 全学年でクラス替えが可能となる規模（学級数）

- ・全学年でクラス替えが可能
- ・全ての教科（9教科）で免許を持つ専門の教員を配置

学校の在り方検討委員会



小千谷市立小中学校の在り方について(答申)
諮問のあった事項への答申の要旨は左記のとおりです。

2. 小学校及び中学校における適正な通学距離及び通学時間

児童生徒の安全面や負担面、交通手段等を総合的に勘案した適正な通学距離及び通学時間について。

【原則】 通学距離 下記通学時間を勘案した通学距離

通学時間 小・中学校ともにおおむね1時間以内

- ・地理的条件や冬期間の気象状況を考慮
- ・スクールバスの活用

3. 将来を展望した教育環境の在り方

市全体を考えた魅力あふれる教育環境の整備

○多様な価値観、文化に触れ、生きる力を育む環境の整備

○小千谷市の自然、歴史、人材をいかした、故郷に誇りを持てる教育

○通学の安心安全の確保

上記については紙面の都合により内容を省略しました

下記の図や表などは参考資料として抜粋しました。紙面の都合上見にくいところはご容赦願います。

図 2-1 小学校児童数の推移

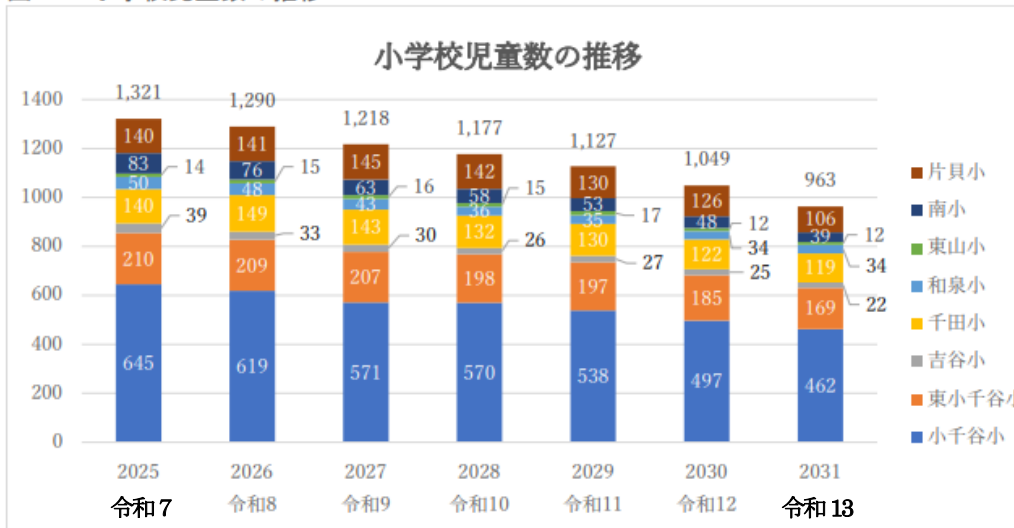


図 2-2 小学校学級数の推移

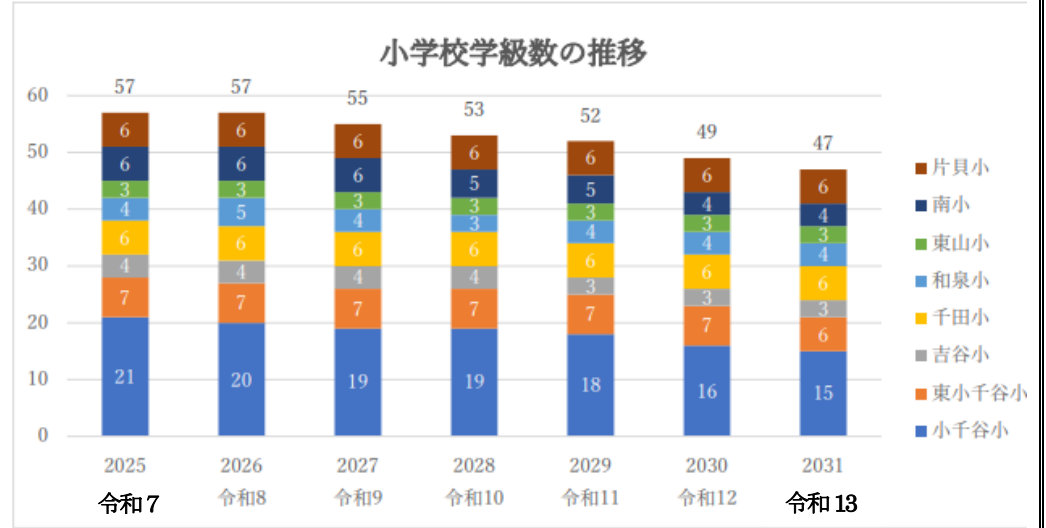


図 3-1 中学校生徒数の推移

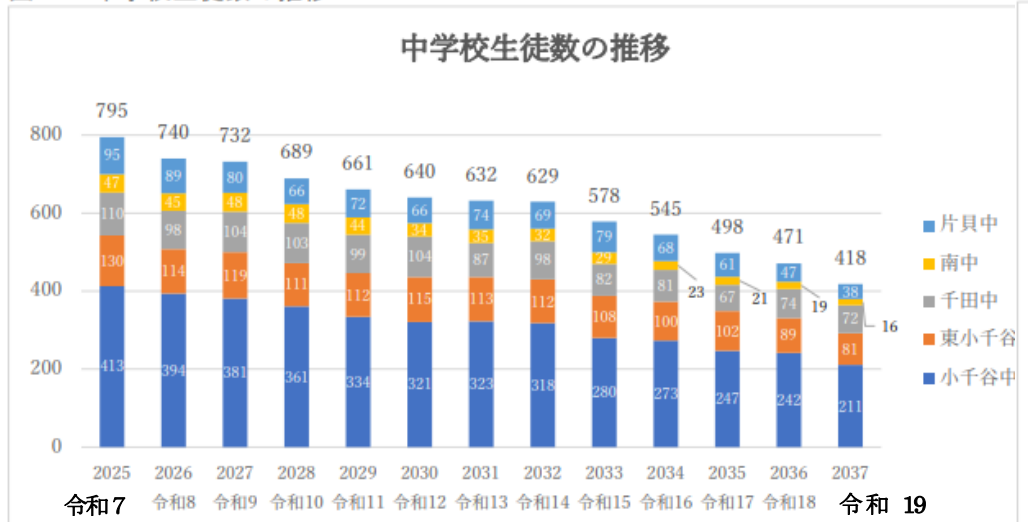
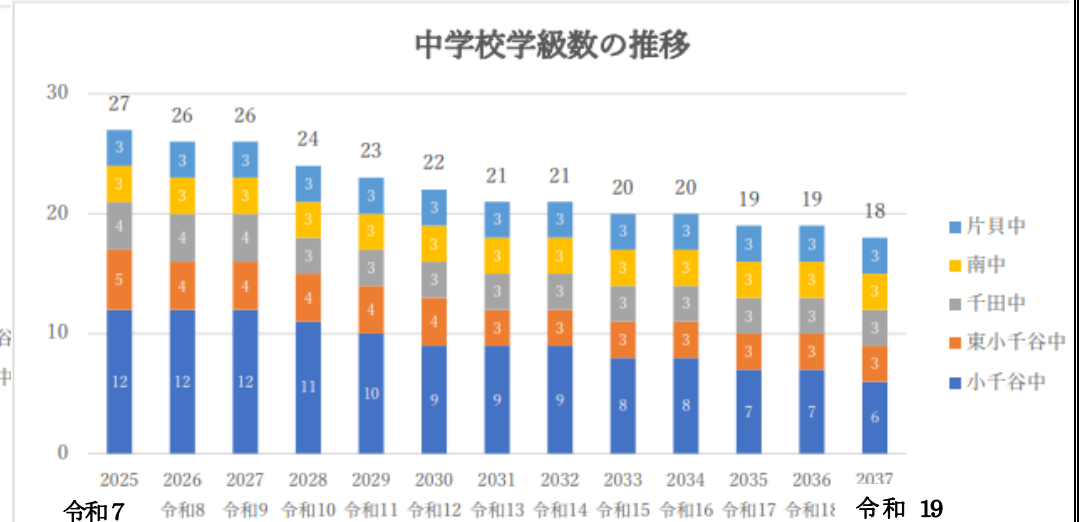


図 3-2 中学校学級数の推移



小千谷市の通学事情について

【各地区から市街地までかかる時間（スクールバスを利用した場合）】

○東山地区 約20分 ○南部地区 約20分 ○片貝地区 約15分

図 4-2 令和7年度 学級編制基準（新潟県）

単式学級	小学校	1～3学年 35人以下 1・2学年は32人以下も可	4～6学年 35人以下
	中学校	40人以下 35人以下（下限25人）の実施	
複式学級	小学校	引き続く2の学年の合計が16人以下 第1学年の児童を含む学級は8人以下	
	中学校	引き続く2の学年の合計が8人以下	

11月以降に地区別懇談会が予定

【今後の予定】
答申を受け取った松井教育長は、10月には条例に基づき小千谷市学校整備委員会を設置し、11月以降に地区別懇談会、来年1月～2月頃に子供達や保護者にアンケート調査を実施することを説明。「この答申を基に、保護者の想いも大切にしながら、地区ごとの検討に入りたい。令和9年3月までに、計画を公表したい。」
※小千谷新聞記事を抜粋
※今回の諮問や答申などに係る書類を紙ベースで交流館にて閲覧可能です。



功 谷地区防犯協
会会長 瀧澤

防犯協会主催の「犯罪のない安全で安心なまちづくり県民大会2025」が新潟市のユニゾンプラザで10月17日に開催されました。県内全市町村から約800名が参加し、表題の安全で安心して暮らせる地域社会の実現をとの想いで開催されるものです。

さまざまな犯罪が発生し、近年特に高齢者を狙った特殊詐欺が増加していて、誰もが騙されるような巧妙な手口で誘い込むような事例が起っています。

犯罪にあわないよう十分注意して毎日を過ごして欲しいと思います。

防犯協会県民大会

真人の風

(令和7年10月25日)
(全戸配布)

おしらせ版28号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel 86-3002

感謝状贈呈

真人町里地振興協議会

真人町下夕島地内で進められている国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所発注の真人遊水地工事を受注している工事業者3社で組織する真人遊水地整備工事 工事関係者連絡会(株)村山土建、(株)加賀田組、小柳建設(株)の各請負業者に、地域と連携して安全に配慮した施工と工程調整に努め、「真人まつり奉納煙火」では多大なるご高配を賜るなどの地域貢献に対して、10月9日(木)各社に各々感謝状を贈りました。

今後工事完成まで安全で安心できる施工に努めて頂きたいと願います。



工事関係者連絡会代表の小柳建設(株)で真人遊水地整備その6工事現場代理人長谷川愛様(写真右より二

メントを頂きました。

初めに、日頃より地域の安全と環境保全にご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。また、この度工事施工業者の地域に対する業務や対応を評価していただき、感謝状の贈呈につきまして誠にありがとうございました。

真人遊水地整備工事 工事関係者連絡会は、国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所が発注する真人町遊水地整備事業の施工業者3社(株)村山土建、(株)加賀田組、小柳建設(株)で組織しております。

本工事は、地域の皆様の安心・安全な暮らしを守るための重要な事業であり、河川の氾濫防止や流域環境の改善を目的としております。施工にあたりましては、近隣の皆様にご不便やご迷惑をおかけすることのないよう、騒音・振動・交通安全などに十分配慮しながら、細心の注意を払って進めてまいります。

地域の皆様のご理解とご協力のもと、無事故・無災害で工事を完了できるよう、工事関係者連絡会一同誠心誠意努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



真人まつり奉納煙火で打ち揚げ



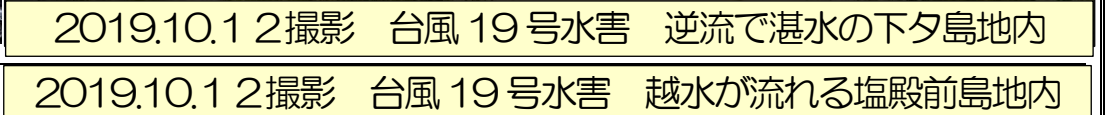
2025.10.17 撮影 本格的な工事が始まった真人遊水地



2025.10.17 撮影 完成に向けて整備が進む塩殿遊水地



2019.10.12 撮影 台風19号水害 逆流で湛水の下夕島地内



2019.10.12 撮影 台風19号水害 越水が流れる塩殿前島地内

参考



コミバス利用案内(案)

秋の味覚堪能ランチ送迎

新米もおいしくいただける時期になりました。地域内の「蕎麦割烹まるいち」さんでは新そばも提供されています。また、若柘地内の「おっこの木」では秋野菜やキノコなどの秋の味覚を楽しむこともできます。地域の皆様のお声かけで人数がまとまれば(1回の定員9名以下)秋の味覚ランチ送迎バスとし、「コミニケーション」支援の運行をすることもできますので、是非活用ください。

北部地区や芋時町内の方はまるいちの新そばを食べに行きませんか。真人里地区と芋時町内の方はおっこの木で秋の味覚を楽しみませんか。家族、知り合いなどで是非ご検討ください。ご相談は真人ふれあい交流館まで Tel 86-30002

経費はコミバス燃料費と運転手当の実費をご負担願います。飲食に係る経費は個人の負担でお願いいたします。



なお、料理の内容につきまして要望があればお伝います。

また、コミバスの利用では桜町のさつまいも農力フエきらうさんや岩沢の山紫などもご相談ください。



お知らせ

公民館真人分館主催

ホントカ。見学会

開催日時

11月22日(土) 午前9時～11時

集合時間 午前8時30分

集合場所 真人ふれあい交流館

・「コミニティバス」での送迎

参加費 無料

申込期限 11月20日(木)

申込先 真人ふれあい交流館

Tel 86-30002

※申し込み多数の場合は時間及び日程変更する場合があります。その際は申込者と調整させていただきます



火災・事故に気を付けよう

9月22日中山地内で農作業のコンバインが転落し、かろうじて運転されていた方は骨折などによる入院となりました。(現在は退院)

また、9月29日には、干三地内で作業小屋が全焼する火災がありました。母屋に火が回らなかつたことが幸いでした。安全・安心な暮らしに気を付けま



コンバイン転落事故 中山地内



作業小屋火災 干三地内

遊水地追加工事発注

国の信濃川河川事務所が進める真人遊水地工事のその7とその8工事が追加発注となり、10月16日(木)に真人ふれあい交流館で工事説明会が開催されました。

いずれの工事も既設堤防の拡幅と越流堤から沈砂池を結ぶ地内水路の施工となります。今回の工事受注者

・真人遊水地その7工事

工事会社 (株)曙建設

工事期間 令和7年10月1日～

令和8年3月25日

・真人遊水地整備その8工事

工事会社 小杉土建工業株

工事期間 令和7年9月25日～

令和8年3月19日

※その7工事の河川土工において、ほ場表土の残土については、芋坂地内のほ場整備事業個所に搬出の予定がされています。

【編集後記】
柏崎刈羽原発の再稼働問題を巡り、県議会連合委員会に東電小早川社長や経済産業省資源エネルギー庁の村瀬長官が参考人出席するなどや県が進める県民意識調査などで再稼働の是非に関心が向けられるところとなってきました。

私自身は市役所退職後の二年間を福島原発事故の復旧対応とし、南相馬市に派遣で20キロ圏外の農地除染業務に携わってきました。その際に西山の林道から見る太平洋の日の出を見たいと考えましたが、原発事故の風向きで当該地区は帰還困難区域のままで、今も解除はされていません。風向きによつては20キロ圏外でもまだ立ち入りができない事実がある中、福島ではその風の吹いたところに市街地などが含まれてはいませんが、柏崎刈羽原発の「被ばく線量シミュレーション結果について」では新潟県が柏崎刈羽地域の実情に合わせた条件(令和3年の気象条件

等でシミュレーションを行い、県独自の想定として6、7号機同時事故についても行っています。

福島原発事故を受け安全対策が進められ、色々な条件で行っていますが、シミュレーションによって得られた線量は、UPZ(5～30キロ圏)では1AEA(国際原子力機関)の防護措置を必要とする基準に達しない見込みとなっています。

なお、国の方針はUPZにおいて、原子力発電所で事故が発生し、全面緊急事態と呼ばれる放射性物質放出前、放出の恐れが高い状態になった時点で、被ばくを小さくすることを目的に屋内退避を実施し、必要に応じて安定ヨウ素剤を服用となっていると教えて頂きました。

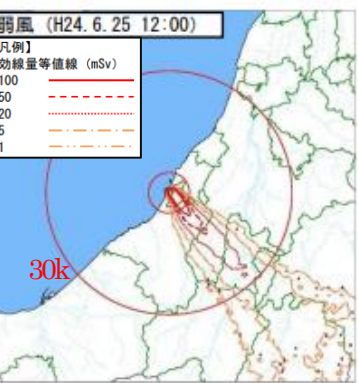
専門的なことはよく理解ができませんが、北西の風では風下となる地域のリスクなどには関心を持ちながら接してみたいと考えます。

今後、出前事業などで申し込みをすると、防災士による講話となりますが対応ができることのお話をお聞きしました。住民の方からも是非お聞きしたいという声が届けば機会を設けようと考えております。(渡邊)

外部被ばく実効線量

風向：北西(雨なし)

シミュレーションの一部を抜粋



新潟県 HP の QR コード 上 結果 報告 下 結果

